

# 2026年1月14日 日刊建設工業新聞

## 【札幌会場】



多くの愛される建築を  
総合資格学院札幌校  
建築士試験合格祝賀会

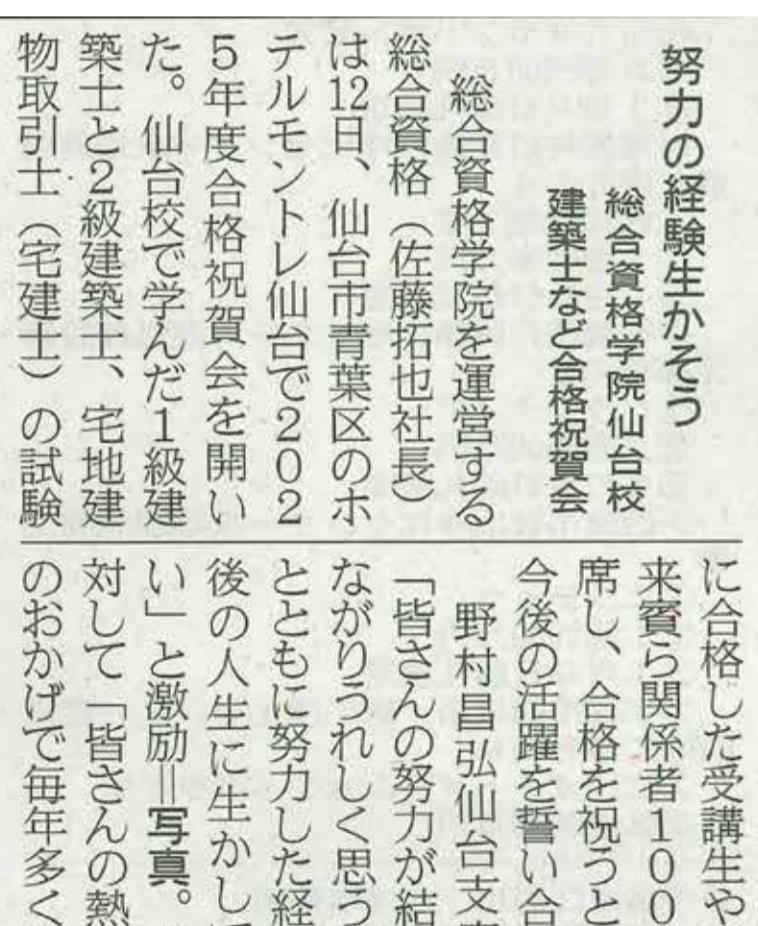
総合資格学院を運営する総合資格（佐藤拓也社長）は12日、札幌市中央区のT K PガーデンシティPRE M I U M札幌大通で2025年度札幌校合格祝賀会を開いた。1級・2級建築士の資格試験に合格した同校の受講者ら約60人が参加し、担当講師やスタッフとともに合格の喜びを分かち合った。その後合格者を代表してあいさつした1級建築士合格者の川村涉さんは、試験に向けたサポートしてくれた同学院の関係者らに謝意を表しながら「今後皆さんと一緒に再会し、良好な関係を築きながら一緒に仕事をしていきたい」と抱負を話しそれぞれの飛躍を願った。

冒頭、札幌校の辻本晃一校長は「建築士の仕事は誰かの人生の舞台をつくること。これから引く一本、一本の線はその人の幸せやまちの未来を守る責任が生じる。試験勉強の粘り強さと合格を手にしたときの初心を忘れず、多くの人に愛される建築を世に送り出してほしい」と激励した。

北海道地区では16～25度の10年間に、学科と設計製図のストレート合格者が290人誕生し、このうち同校の受講者は半数の145人を占めている。

合った＝写真。

## 【仙台会場】

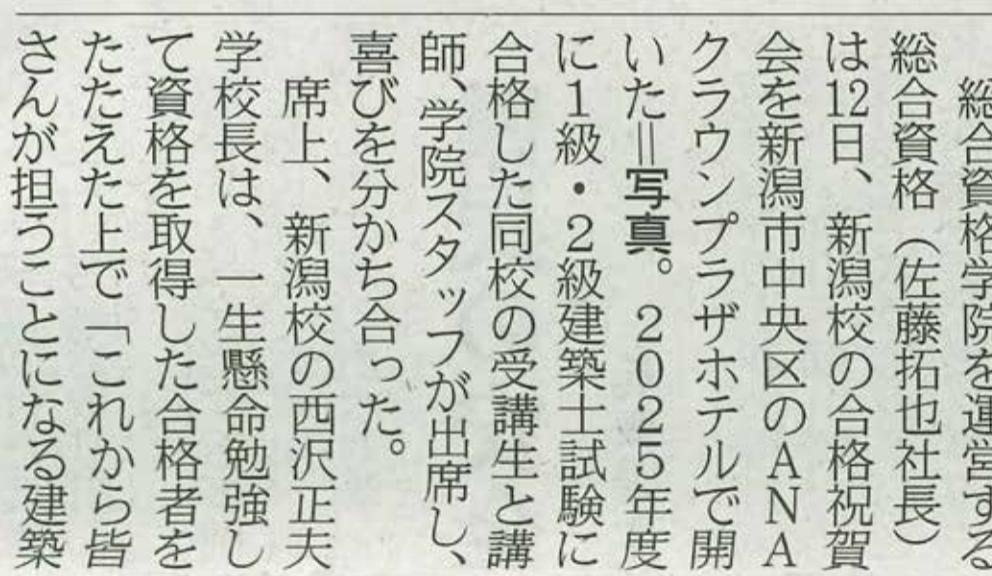


努力の経験生かそう  
総合資格学院仙台校  
建築士など合格祝賀会

総合資格学院を運営する総合資格（佐藤拓也社長）は12日、仙台市青葉区のホテルモントレ仙台で2025年度合格祝賀会を開いた。仙台校で学んだ1級建築士と2級建築士、宅地建物取引士（宅建士）の試験に合格した受講生や講師、来賓ら関係者100人が出席し、合格を祝うとともに今後の活躍を誓い合った。

野村昌弘仙台支店長は「皆さんの努力が結果につながりうれしく思う。資格とともに努力した経験を今後的人生に生かしてほしい」と激励＝写真。講師に対して「皆さんの熱い指導のおかげで毎年多くの合格

## 【新潟会場】



勉強継続し研さんを  
総合資格学院新潟校  
合格祝賀会開く

総合資格学院を運営する総合資格（佐藤拓也社長）は12日、新潟校の合格祝賀会を新潟市中央区のANAクラウンプラザホテルで開いた＝写真。2025年度に1級・2級建築士試験に合格した同校の受講生と講師、学院スタッフが出席し、喜びを分かち合った。

席上、新潟校の西沢正夫校長は、「一生懸命勉強して資格を取得した合格者をたたえた上で」「これから皆さんが担うことになる建築士という仕事は大きな責任を伴う」と述べ、これからも勉強をやめることなく、研さんを積み続けることの重要性を訴えた。



に合格した受講生や講師、来賓ら関係者100人が出席し、合格を祝うとともに今後の活躍を誓い合った。野村昌弘仙台支店長は「皆さんの努力が結果につながりうれしく思う。資格とともに努力した経験を今後的人生に生かしてほしい」と激励＝写真。講師に対して「皆さんの熱い指導のおかげで毎年多くの合格

祝福した。

同学院の公表資料による

と、直近10年で宮城県内の1級建築士の設計製図試験、学科と設計製図試験のストレート合格者とともに、台校の受講生の占有率は6割を超える。東北エリアでは岩手、山形、福島各校でも実績を確実に積み上げてい

# 2026年1月14日 日刊建設工業新聞

## 【東京会場】

**感性磨き魅力ある人間に**

総合資格学院を運営する総合資格（佐藤拓也社長）は12日、東京地区の2025年度合格祝賀会を開催。東京都新宿区のハイアットリージェンシー東京で開き、約450人が参加した（写真）。直近10年（16～25年度）で1級建築士試験の学科試験と設計製図試験を1年でストレート合格した受験生のうち、同学院で学んだ者の割合は59・2%（1万4345人中8493人）となつた。

直近10年で1級建築士試験の設計製図試験は、合格した人のうち、52・6%（3万5869人中1万8878人）を同学院の受講生が占めた。

冒頭あいさつした佐藤社長は、「皆さんの合格が何よりの喜びだ。全国の会場で多くの合格者を迎えることができ、大変感謝している。総合資格は今までの実績に甘えることなく、さらなる強化と改善、に推し進めていく」と述べた。

特別顧問で建築家の伊東豊雄氏は「近い将来、AIによって設計が70%ほどできてしまうだろう。だがAIは機械であり、人としての魅力を持たない」と指摘。その上で「建築は1人ではできず、大勢の人の協力によってできる仕事だ。さまざまな人たちと良いコミュニケーションを取らないといつまく進まない。今日から身体的な体験により感性を磨き、周囲から尊敬され魅力ある人間になってほしい」と合格者にメッセージを送った。

古谷誠章日本建築士会連合会会長、千鳥義典東京都建築士事務所協会会長、佐々木龍郎東京建築士会会長が祝辞を述べた。

修了証授与式では、1、2級建築士試験の合格者代表に賞状が手渡された。

総合資格学院を運営する総合資格（佐藤拓也社長）は12日、東京地区の2025年度合格祝賀会を開催。約450人が参加した（写真）。直近10年（16～25年度）で1級建築士試験の学科試験と設計製図試験を1年でストレート合格した受験生のうち、同学院で学んだ者の割合は59・2%（1万4345人中8493人）となつた。

直近10年で1級建築士試験の設計製図試験は、合格した人のうち、52・6%（3万5869人中1万8878人）を同学院の受講生が占めた。

冒頭あいさつした佐藤社長は、「皆さんの合格が何よりの喜びだ。全国の会場で多くの合格者を迎えることができ、大変感謝している。総合資格は今までの実績に甘えることなく、さらなる強化と改善、に推し進めていく」と述べた。

特別顧問で建築家の伊東豊雄氏は「近い将来、AIによって設計が70%ほどできてしまうだろう。だがAIは機械であり、人としての魅力を持たない」と指摘。その上で「建築は1人ではできず、大勢の人の協力によってできる仕事だ。さまざまな人たちと良いコミュニケーションを取らないといつまく進まない。今日から身体的な体験により感性を磨き、周囲から尊敬され魅力ある人間になってほしい」と合格者にメッセージを送った。

古谷誠章日本建築士会連合会会長、千鳥義典東京都建築士事務所協会会長、佐々木龍郎東京建築士会会長が祝辞を述べた。

修了証授与式では、1、2級建築士試験の合格者代表に賞状が手渡された。

## 【埼玉・千葉・神奈川会場】

**立てる」と語った。**

合格祝賀会を開いた（写真）。直近10年（2016～25年度）で見た1級建築士設計製図試験の合格者全体の割合は52・6%。埼玉県内で同53・8%となつた。

同学院の川越校の竹居賢春校長は「スタッフ一同、皆さんのステップアップを支援でき、大きな喜びを感じている。今後とも新たな関係づくりをお願いしたい」と合格者にエールを送った。続いて来賓の丸岡庸一郎埼玉建築士会会長、竹ノ谷敦夫埼玉県建築士事務所協会副会長、片渕恭利埼玉建築設計監理協会副会長が祝辞を述べた。

1級建築士に合格した五十嵐遙香さんは「提出した宿題をその日のうちに講師が添削してくださり、疑問点が水解するなどきめ細かくご指導いただいたことに感謝している」、2級建築士合格の花谷彰久さんは「知人から総合資格学院を紹介された。塗装工事会社を経営しており、リフォーム、改築など事業拡大に役立てる」と語った。

冒頭、山本聰千葉本部本部長は「皆さんの努力が実り、国家資格者としてこの場にいることを誇りに思ふ。建築士試験は大きな変化の節目にある。より多くの建築士合格者、一緒に働く仲間をつくりていければ」と述べた。講師の内藤雅行氏が祝辞を述べた後、各校の受講生代表者に修了証を手渡した。

久富清敏千葉県建築士会会長や青山貴仁千葉県建築士事務所協会副会長、池田（J S C A）千葉副代表、梶原等千葉県設備設計事務所協会会長がお祝いの言葉を贈った。

主催者あいさつで森山衛（J S C A）千葉副代表、梶原等千葉県設備設計事務所協会会長がお祝いの言葉を贈った。

南関東本部本部長は「試験合格はゴールではなく新たなスタートだ。有資格者としての責任を持ち、建設業界の発展に寄与してほしい」と激励した。

上原伸一神奈川県建築士会会長、小松正道神奈川県建築士事務所協会副会長、柳澤潤日本建築家協会（JIA）関東甲信越支部神奈川地域会代表ら来賓も祝辞を述べた。その後、修了証を授与された試験合格者2人が参加者を代表して下さいました。

記録した。学科、設計製図試験を1年で合格するストレートでも合格者の60・5%（1275人中771人）を占めている。

主催者あいさつで森山衛（J S C A）千葉副代表、梶原等千葉県設備設計事務所協会会長がお祝いの言葉を贈った。

南関東本部本部長は「試験合格はゴールではなく新たなスタートだ。有資格者としての責任を持ち、建設業界の発展に寄与してほしい」と激励した。

上原伸一神奈川県建築士会会長、小松正道神奈川県建築士事務所協会副会長、柳澤潤日本建築家協会（JIA）関東甲信越支部神奈川地域会代表ら来賓も祝辞を述べた。その後、修了証を授与された試験合格者2人が参加者を代表して下さいました。

記録した。学科、設計製図試験を1年で合格するストレートでも合格者の60・5%（1275人中771人）を占めている。

主催者あいさつで森山衛（J S C A）千葉副代表、梶原等千葉県設備設計事務所協会会長がお祝いの言葉を贈った。

南関東本部本部長は「試験合格はゴールではなく新たなスタートだ。有資格者としての責任を持ち、建設業界の発展に寄与してほしい」と激励した。

上原伸一神奈川県建築士会会長、小松正道神奈川県建築士事務所協会副会長、柳澤潤日本建築家協会（JIA）関東甲信越支部神奈川地域会代表ら来賓も祝辞を述べた。その後、修了証を授与された試験合格者2人が参加者を代表して下さいました。

記録した。学科、設計製図試験を1年で合格するストレートでも合格者の60・5%（1275人中771人）を占めている。

主催者あいさつで森山衛（J S C A）千葉副代表、梶原等千葉県設備設計事務所協会会長がお祝いの言葉を贈った。

南関東本部本部長は「試験合格はゴールではなく新たなスタートだ。有資格者としての責任を持ち、建設業界の発展に寄与してほしい」と激励した。

上原伸一神奈川県建築士会会長、小松正道神奈川県建築士事務所協会副会長、柳澤潤日本建築家協会（JIA）関東甲信越支部神奈川地域会代表ら来賓も祝辞を述べた。その後、修了証を授与された試験合格者2人が参加者を代表して下さいました。



# 2026年1月15日 日刊建設工業新聞

## 【静岡会場】

今後の活躍にエール  
総合資格学院静岡校、  
浜松校の合格祝賀会

総合資格学院を運営する  
総合資格（佐藤拓也社長）

は12日、静岡県内の2会場  
で2025年度の合格祝賀  
会を開いた。

静岡校（安田義孝校長）  
は静岡市葵区のグランディ  
エールブケトーカイ、浜

松校（本江秀明校長）は  
浜松市中央区のオーラ  
アクティティホテル浜松  
で開催。受講者や来賓、学  
校関係者が出席し合格を祝  
った。

静岡校の祝賀会で安田学  
校長は「建築士合格でこれ  
から夢や希望が増えてくる  
かと思われる。自信を持つ  
てチャレンジし、今後の活  
躍を期待している」と述べ、  
合格者らにエールを送っ  
た。

あいさつする安田校長（上）と  
本江校長（いずれも総合資  
格学院提供）



# 2026年1月15日 日刊建設工業新聞

【大阪・兵庫・京都・滋賀・奈良・和歌山会場】



# 2026年1月14日 日刊建設工業新聞

# 【広島会場】



# 【福岡会場】



# 【香川会場】

